

武雄見聞録



黒髪神社の流鏝馬



宇立手の荒踊



武雄の流鏝馬



袴野面浮立

令和3年度版

も く じ

1. 武雄市の概要	・・・ P. 1～2
(1) 沿革 (2) 位置 (3) 歴史 (4) その他 (5) 観光客数の推移	
2. 武雄温泉	・・・ P. 3～4
(1) 温泉の歴史 (2) 温泉の泉質 (3) 武雄温泉楼門	
(4) 殿様湯 (5) 武雄温泉新館 (6) 利用施設 (7) 市有泉源	
3. 宿泊施設	・・・ P. 5～6
4. 陶 芸	・・・ P. 7
5. 観光資源	・・・ P. 8～19
(1) 円応寺	
(2) 佐賀県立宇宙科学館“ゆめぎんが”	(3) 如蘭塾
(4) 青銅製大砲	(5) 武雄神社 (6) 武雄の大楠
(7) 塚崎の大楠	(8) 武雄温泉物産館 (9) 武雄温泉保養村
(10) 武雄市図書館・歴史資料館 (11) 武雄市文化会館	(12) 御船が丘梅林
(13) 御船山楽園	(14) 廣福寺 (15) 陽光美術館・慧洲園
(16) 竹古場キルンの森公園「飛龍窯」	(17) 土師場物原山
(18) おつぼ山神籠石	(19) 森とリスの遊園地 メルヘン村
(20) 黒髪山	(21) 乳待坊公園
(22) 神六山	(23) 道の駅山内「黒髪の里」・なな菜
(24) 川古の大楠公園	(25) 大聖寺 (26) 高野寺
(27) きたがた四季の丘公園	(28) 北方温泉 四季の里 七彩の湯
(29) 長崎街道(塚崎宿周辺地図)	(30) 九州オルレ・武雄コース
(31) タケさんぽ(黒髪・若木・北方・橘・東川登・武内・西川登・朝日)	
※国・県・市指定文化財一覧表	・・・ P. 20～22
6. 武雄の匠	・・・ P. 23
7. 民俗芸能	・・・ P. 24～25
(1) 真手野の舞浮立 (2) 大日の皮浮立 (3) 武雄の荒踊	
(4) 袴野面浮立 (5) かんこ踊 (6) 山内の浮立	
(7) 志久七囃子浮立 (8) 武雄供日の流鏝馬行事 (9) 黒髪神社の流鏝馬神事	
8. 武雄の特産品	
(1) レモンガラス (2) 「黒」商品 (3) 若楠ポーク	・・・ P. 26～27
(4) 猪肉 (5) 佐賀大豆フクユタカ商品 (6) 橘産さがびより	
(7) 北方産パクチー	
9. 武雄市内のイベント	・・・ P. 28～29
10. 周辺観光地とのアクセス	・・・ P. 30
11. 各施設問合せ先	・・・ P. 31

1. 武雄市の概要

(1) 沿革

本市は、佐賀県の西部にある人口約 49,000 人の温泉都市で、平成 18 年 3 月 1 日に旧武雄市・山内町・北方町の 1 市 2 町が合併し誕生した。

大部分が山地で山林面積は 50% を占め、佐賀県内を横断する松浦川と六角川の源流を持ち、武雄盆地内を武雄川・高橋川などの小流が六角川に注いでいる。市の中心部には、舟の形をしたシンボリックな山「御船山」、西部には谷を挟んで向きあう雌岩・雄岩、「21 世紀に残したい日本の自然百選」にも選ばれた「黒髪山」、樹齢 3,000 年を越える 3 本の大楠があり、雄大な山々と豊かな自然に囲まれている。黒髪山や杵島山、八幡岳などの雄大な山々に囲まれた盆地地形のため、内陸的な気候を呈している。

また、1,300 年の歴史を誇る温泉郷、420 年以上の歴史を誇る陶芸の里、そして巨木の里としても広く知られている。

(2) 位置

東経：130° 01′ 北緯：33° 11′ 面積：195.40 km²

武雄市は、長崎自動車道武雄北方インターチェンジ、西九州自動車道武雄南インターチェンジがあり、博多から JR で 1 時間、九州佐賀国際空港から車で 40 分、長崎空港から車で 40 分（高速利用）の所に位置し、西九州における交通の要所となっている。

(3) 歴史

武雄に人が住み始めたのは発見された旧石器から約 1 万年前と推定されている。弥生時代や古墳時代の遺跡としては、武雄盆地内に多くの遺跡がある。その中でも「杵島山遺跡」や「潮見古墳」は時代を反映した副葬品で有名で、出土品が県の重要文化財に指定されている。

7 世紀後半頃には、外敵の侵入を防ぐための古代山城「おつぼ山神籠石」（国史跡）が造られたことから、この武雄が重要な所と見られていたことがわかる。

8 世紀前半に作られた「肥前国風土記」の中には、武雄温泉について温泉発祥の伝説や、杵島郡の成り立ちの記述がある。

鎌倉以降、武雄では塚崎庄の領主後藤氏や武雄神社神官などが中心となり、その後、後藤氏が勢力を伸ばして、現在の武雄町・山内町そして伊万里市の一部にまで領域を広げていった。

豊臣秀吉の時代になると、全国の大名家たちは朝鮮出兵前や帰国時に入浴のために武雄温泉を訪れた。また、武雄領主も従軍し、帰国時には、朝鮮半島の陶工たちを連れ帰り、この地で陶器をつくらせたのが武雄のやきものの起源の一つである。

江戸時代になると、武雄領は秀吉時代の半分以下となった。その後第 21 代武雄領主茂綱以降は、鍋島を名乗るようになった。幕末の茂義、茂昌の時代には、長崎警備にあたった佐賀藩を支える家老の家柄として海外の資料収集、西洋科学技術を研究し、佐賀藩の近代化を進め戊辰戦争でその成果を日本中に知らしめた。

明治 22 年に政府の憲法制定公布に伴い、武雄では 18 ヶ村が 1 町 7 村に、山内では 5 ヶ村が 2 村に、

北方では4ヶ村が2村となり、幾度かの合併を経て、現在の武雄市となった。

(4) その他

- ・市の木…クスノキ
- ・市の花…ツツジ
- ・特産物…陶芸品、竹細工、茶、いちご、米、チンゲン菜、
若楠ポーク、黒米、佐賀牛、レモングラス、猪肉、パクチー など



(5) 観光客数の推移（過去10年間）

（観光客数）

（単位：千人）

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
日 帰 り	1,348	1,434	1,501	1,541	1,538	1,570	1,537	1,583	1,656	1,465	1,038
宿 泊	226	249	252	259	262	264	262	266	287	298	179
合 計	1,574	1,683	1,753	1,800	1,800	1,834	1,799	1,849	1,943	1,763	1,217

※H24～R2年は武雄市独自調査に基づく実績として公表。



黒髪山 雌岩・雄岩

2. 武雄温泉

(1) 温泉の歴史

1,300年も前から知られた古湯で、奈良時代につくられた「肥前国風土記」の中では、「郡の西の方に温泉の出る処があるが、岩が非常に険しいので人があまり行かない。」と記され、古くは神功皇后も入浴されたという伝説がある。(この古事にちなみ‘つかさき温泉’と呼ばれるようになった。)

また、文禄・慶長(1592-1598)の役の際、入湯に来た兵士に対して湯治客に迷惑をかけないようにと、豊臣秀吉が出した入湯心得の古文書「豊臣秀吉塚崎温泉掟書」が保存されているのをはじめ、歴史上名高い伊達政宗や宮本武蔵、シーボルトなどの入湯記録や伝説も残っている。

(2) 温泉の泉質

泉質…単純泉(低張性弱アルカリ性高温泉)

特徴…透明で柔らかな湯ざわり

効能…(適応)疲労回復、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩

関節のこわばり、うちみ、くじき、健康増進、痔疾

(禁忌)悪性腫瘍、重い心臓病、出血性疾患



(3) 武雄温泉楼門(国指定重要文化財)

温泉の入口に立つ朱塗りの楼門は、竜宮城を連想させる鮮やかな色彩と形で、天平式楼門と呼ばれる建築物である。東京駅を設計した辰野金吾の設計で、大正3年11月20日上棟、大正4年4月12日に完成した。楼門には十二支のうち子・卯・馬・酉の4つの彫絵があるが、東京駅には残り8つの干支のレリーフが存在する。武雄温泉のシンボルとして、観光客だけでなく広く市民にも親しまれている。

平成17年には国の重要文化財に指定。

平成25年には保存修理が行われ、建造当時の朱色の色が復元された。

(4) 殿様湯

江戸時代になると、武雄温泉は佐賀鍋島藩の所有となり、藩主だけが入湯できる専用の湯船も造られた。1826年には、シーボルトが入浴した様子が「江戸参府紀行」には紹介されている。その当時に偲ぶように殿様湯、家老湯と名付けられた浴室がある。

(5) 武雄温泉新館(国指定重要文化財)

辰野金吾博士の設計で、楼門と同年の大正3年8月6日に上棟、翌年4月12日に完成。建てられた新館は時代の流れとともに老朽化が進み、平成3年の台風で崩壊寸前となった。平成12年の夏から保存修理工事が開始され、平成15年4月に武雄温泉新館として、大正初期に建てられた当時の姿が蘇った。保存修理の際には、大正天皇のために造られた幻の浴室も掘り起こされ、浴槽に使われた当時最も貴重だったマジョリカタイルや陶板デザインタイルを見学することができる。楼門とともに平成17年に国の重要文化財に指定された。

(6) 武雄温泉利用施設

TEL 23-2001

温 泉 名		料 金	営業時間	その他
大衆浴場	元 湯	大人 450 円 子供 220 円	6 : 30～24 : 00 (受付は 23 : 00 迄)	明治 9 年建立
	蓬莱湯	大人 450 円 子供 220 円	6 : 30～21 : 30 (受付は 20 : 30 迄)	ジェットバス付
	鷺乃湯	大人 680 円 子供 340 円	6 : 30～24 : 00 (受付は 23 : 00 迄)	露天風呂・サウナ付
殿 様 湯		1 室 1 時間あたり 3,800 円 (平日割引 3,300 円)	13 : 00～22 : 00 (21 : 00 受付終了) ※平日 16:00～21:00 (20:00 受付終了)	4.5 畳・3 畳の 控えの間付
家 老 湯		” 3,000 円 (平日割引 2,500 円)		4.5 畳の控えの間付
柄崎亭	天平の湯 はな 桜華の湯 芭蕉の湯	” 3,400 円 (平日割引 3,000 円)		

(7) 市有泉源の概要

武雄市の給湯施設は、昭和 45 年に武雄簡易保険保養センターに給湯したのが始まりである。泉質はアルカリ性単純温泉で、泉源は 3 箇所ある。

	A 泉源	B 泉源	C 泉源
位 置	武雄町大字永島 18295-2	武雄町大字永島 18085-2	武雄町大字永島 18199
温 泉 発 掘	昭和 45 年 3 月 11 日	昭和 49 年 5 月 30 日	昭和 44 年 3 月 31 日
井戸の形状寸法	0～500m: φ140～66mm	0～200m: φ151.3mm 200～400m: φ73mm 400～500m: φ53mm	0～10m: φ166mm 10～57m: φ146mm 57～100m: φ86mm
泉 温	25.5℃	30℃～36℃ : 孔底 43℃	22～28℃
自 噴 量	な し	120 t / 日	68 t / 日
泉 質		アルカリ性単純温泉	アルカリ性単純温泉

《給湯先》

池の上 A 泉源…休止中

池の上 B・C 泉源…御船山楽園ホテル、武雄温泉ハイツ、武雄温泉ユースホテル、
みなと荘、清香奨学会、ペンションピクニック、県立宇宙科学館、日輪荘、
競輪場、社会福祉法人誠和会、保養村エントランス、森のリゾートホテル、
万葉の湯（福岡市）、眺望の杜

3. 宿泊施設

施設名	概要
御船山楽園ホテル	15万坪の広大な自然に恵まれた御船山の麓にある宿。一年を通して四季折々の花々を楽しむことができる。
竹林亭	御船山楽園の庭園の中にある竹林に囲まれた数寄屋造りの建物。平成天皇が皇太子の時に御宿泊されたことでも有名。露天風呂あり。
大正浪漫の宿 京都屋	ホテル内は大正浪漫を感じさせる雰囲気。送迎クラシックバス「浪漫号」で送迎。露天風呂あり。ミストサウナは女性に人気。
国際観光旅館 なかます	創業200年の歴史を誇る老舗旅館。初代柿右衛門の赤絵香炉や古伊万里の大鉢、西郷隆盛直筆の書など秘蔵の美術品を展示。
ホテル春慶屋	敷地内から湧き出る100%天然温泉の展望風呂が自慢のホテル
若松屋旅館	明治18年創業の老舗旅館。木の香りに包まれた檜風呂の温泉が楽しめる。
懐石宿 扇屋	1993・94年の2年連続で日本温泉旅館大賞のグランプリを受賞した宿。専用の露天風呂も完備。もてなしのときを楽しめる。
湯元荘 東洋館	創業380年の伝統を誇り、宮本武蔵ゆかりの宿としても知られている。さまざまな趣向を凝らした部屋を用意。離れの部屋（温泉付）もあり。
旅館 白さぎ荘	古き良き時代の面影を残す情緒あふれる宿。四季折々の料理が楽しめる。
武雄温泉楼門亭	木造2階建ての温泉宿宿泊者は鷺の湯、蓬莱湯、元湯に入浴できる。
北方温泉四季の里 七彩の湯	温泉、食事、宴会、宿泊等が可能な温泉施設。敷地内には、家族湯・足湯・エステ・岩盤浴・露天付き客室などがある。
パーソナルホテル Y O U	ビジネスホテル。武雄温泉まで徒歩5分。
セントラルホテル武雄温泉駅前	ビジネスホテル。武雄温泉駅南口前。朝食無料。
油屋	ビジネス旅館。長期滞在可。
武雄温泉ハイツ	各種宿泊プランを用意。ラウンジやカラオケ施設などもある。 （令和3年9月21日より一時休業中。）
港湾保養所 みなと荘	九州港湾福利厚生協会運営の宿。一般利用可。
武雄温泉ユースホステル	家族、グループの宿泊に最適。送迎あり
ペンション ピクニック	湖と緑に囲まれた木造の宿。各種プランあり。カヌー体験あり。
奥武雄温泉 風の森	山林の中にひっそりとたたずむ隠れ宿。全室離れ（露天風呂付）
森のリゾートホテル	湖畔にたたずむホテル。和風畳大浴場が人気。
佐賀県立黒髪少年自然の家	黒髪山の麓にある団体・家族向け宿泊研修施設。
アドノアン	撮影スタジオや工房を完備した宿泊施設。長期滞在可。
遺言の宿 おもやい処 森羅万象館	一日一棟貸切の素泊まり宿。定員2名～10名。

施設名	電話番号 (0954)	住所	収容 人数	駐車 台数	部屋 数	部屋の形態			1泊2食 (税別)	立寄り湯	バリアフリー対応状況	備考
						和室	洋室	和洋				
御船山楽園ホテル	23-3131	武雄町武雄 4100	135 (45)	100	36	35	—	1	9,900 円～	800 円 (15 時～20 時) 土日・祝前日・盆正月・GW 除く	車椅子常備	武雄温泉駅まで無料送迎有り(要予約) 夕食の部屋食はオプション対応(～5 名様)
竹林亭	23-0210	武雄町武雄 4100			11	6	—	5	45,500 円～	—	車椅子常備・浴場に手すり・ 階段なし	数寄屋造り・露天風呂あり
大正浪漫の宿 京都屋	23-2171	武雄町武雄 7266-7	150	50	34	34	—	—	7,272 円～	1,000 円/500 円 (24 時間・清掃時間あ り)	エレベーター・車椅子常備・浴 場に手すり・玄関にスロープ	浪漫号にて送迎有り・SP レコードとオル ゴール演奏会・ミストサウナ
国際観光旅館 なかます	22-3118	武雄町武雄 7377	150	20	35	32	—	3	11,000 円～	800 円/400 円 (16 時～21 時)	エレベーター・浴場に手すり	古美術展示あり
ホテル 春慶屋	22-2101	武雄町武雄 7407	126	50	24	21	—	3	12,000 円～	800 円 (13 時～21 時)	エレベーター・スロープ 大浴場に手すり	100%天然の屋上展望浴場・ウォッシュ レット付トイレあり
若松屋旅館	22-3101	武雄町武雄 7400	30	5	13	12	—	—	10,000 円～	—	—	平成 10 年改築のひのき風呂
懐石宿 扇屋	22-3188	武雄町武雄 7399	30	30	8	4	露天和室 3 露天洋室 1	—	22,000 円～	貸切 3,000 円(税込・60 分)	—	客室専用露天風呂あり 会食(昼 11:30～14:00 夜 18:00～ 21:30)
湯元荘 東洋館	22-2191	武雄町武雄 7408	70	30	24	21	シングル 2	特室 1 (離れ)	13,000 円～	—	エレベーター・車椅子常備・ス ロープ(取り外し可)	離れ客室(源泉かけ流し温泉付)・読書 室・ウォッシュレット付トイレあり 会食(5,000 円～)
旅館白さぎ荘	22-2240	武雄町富岡 7476	40	15	10	7	ツイン 1	2	6,000 円～	—	—	送迎あり
武雄温泉楼門亭	23-2111	武雄町武雄 7425	45	80	17	17	—	—	2 名 1 室 4,143 円～ (素泊まり)	大人 400 円 小人 200 円 (6 時半～24 時)	—	露天風呂有り(かけ流し循環)・サウナ
北方温泉四季の里 七彩 の湯	36-5926	北方町大崎 4300-1	45	200	11	7	ツイン 1	4	8,909 円～	大人 700 円 小人 300 円 (10 時～23 時)	車いす対応トイレ(ベビーベッドつ き)・スロープ・大浴場に手すり・ 源泉温泉付バリアフリー部屋あり	離れ客室(温泉付)エステ・岩盤浴・足 湯・カラオケ・送迎バスあり
パーソナルホテル YOU	23-2007	武雄町武雄 7283	46	20	37	—	シングル 28 ツイン 9	—	5,300 円～ (別 朝食予約制 700 円)	—	エレベーター	全室インターネット・無線 LAN 完備
セントラルホテル武雄温泉 駅前	20-1234	武雄町昭和 16-12	122	70	173	シングル 106、ダブル 37、ツイン 30			6,800 円～ (朝食のみ)	—	エレベーター	朝食無料・全室セミダブルベッド使用
油屋	23-2504	武雄町富岡 7746	24	6	7	7	—	—	5,500 円～	—	—	長期滞在可
武雄温泉ハイツ	23-8151	武雄町永島 18091	142	100	29	22	ツイン 3	4	12,000 円～ (シングルユース可の部屋あ り)	620 円(8 時～21 時)	エレベーター・スロープ 車いす対応トイレ・専用浴室 バリアフリー和洋室あり	BQ レストラン・カラオケ・マッサージ・サ ウナ 車椅子貸出・会議室
港湾保養所みなと荘	23-6138	武雄町永島 16153	33	40	7	10	—	—	6,000 円～	大人 500 円 小人 250 円 (15 時～19 時)	スロープ(玄関)・浴場に手す り	朝夕ともに食事は家庭料理 休館日：毎週水曜日、不定休有
武雄温泉ユースホステ ル(一時休業中)	22-2490	武雄町永島 16060 -1	80	20	14	2	12	—	3,750 円～ (朝食のみ)	—	—	朝食無料・野外炊事場・BBQ 設備
ペンションピクニック	20-0044	武雄町永島 16200	30	8	7	3	3	1 (離れ)	8,700 円～ (シングルユース時+1,100 円)	400 円(11 時～21 時) 50 分貸切 2,000 円	スロープ(1 階)・浴場に手すり	ペット持込可(離れのみ)・武雄温泉駅 送迎 アウトドア(カヌー等)体験可
奥武雄温泉 風の森	20-6060	西川登町小田志 17275	14	8	7	—	1	6	平日 25,000 円・ 休前日 32,000 円	—	—	全室離れ客室(露天風呂付)
森のリゾートホテル	23-4477	武雄町永島 15750 -1	124	65	41	27	12	2	10,000 円～	600 円(10 時～22 時)	障害者用客室 1 室(ツイン)	天然温泉・カラオケルーム 武雄温泉駅送迎(要予約・平日のみ)
佐賀県黒髪少年自然の家	45-2170	山内町宮野	210	30 大型 4	29	4	—	25	1,820 円 (キャンプ 1,470 円)	—	1 棟のみバリアフリー	キャンプ場・プレイホールあり、昼食 560 円
アドノアン	090-7828-1860	武内町真手野 32232	5	5	2	板間に布団			5,000 円 (朝食のみ)	—	—	プロ仕様撮影スタジオ、自由に使えるお しゃれ工房完備
森羅万象館	33-0485	若木町川古 8383	10	—	1	1			10,000 円 (素泊まり)	—	—	築百年の古民家。貸しスペース有(要予 約)

4. 陶 芸

武雄のやきものは、420年の歴史を持っている。

江戸時代の武雄焼（古武雄）は、日本各地に流通し、また18世紀には東南アジアへも輸出されていた。作風は、鉄絵、緑釉、鉄釉、刷毛目、象嵌、叩きの他、磁器の染付けなど各種あり、大皿、瓶、壺、水指、茶碗、甕など多様な焼き物が作られた。

現在の武雄市にはおよそ90軒以上の窯元・工場がある。

土味を生かした「陶器」と、白く輝く「磁器」の両方が生産されている。それぞれの窯元・工場では、伝統的な技法を生かしつつ研鑽し、新しい技法も生み出しながら伝統の枠にとらわれない作品を生み出している。この地ならではの「個性」と「多様さ」が武雄焼の特徴といえる。

《窯元の概要》

窯元名	住所	電話番号	窯元名	住所	電話番号	窯元名	住所	電話番号
金子窯	武内町真手野	27-2307	山口正勝工房	山内町三間坂	45-4133	つつえ窯	山内町宮野	45-2582
宸山窯	武内町真手野	27-2753	草場一壽工房	山内町鳥海	45-3450	高野路窯	山内町宮野	45-3500
丸田宣政窯	武内町真手野	27-2430	東馬窯	山内町鳥海	45-3308	株金龍窯	山内町宮野	45-3438
壮明窯	武内町梅野	27-3263	彩む工房	山内町大野	45-5437	真光窯	山内町宮野	45-2353
康雲窯	武内町梅野	27-2745	アトリエ 夢	山内町大野	45-3787	いろえ工房	山内町宮野	45-2000
凌山窯	若木町川古	26-2422	葉月窯	山内町大野	45-4761	株宝寿窯	山内町宮野	45-3290
綿島康浩陶工房	若木町川古	33-0106	中島陶芸	山内町大野	45-2508	辻修窯	山内町宮野	45-4905
巧工房	東川登町袴野	22-2982	貞土窯	山内町大野	45-2403	株貞山窯	山内町宮野	45-2218
堤公房	武雄町武雄	23-3304	童工房	山内町大野	45-3753	陶祥窯	山内町宮野	45-3006
無名窯	武雄町武雄	22-3411	仙里窯	山内町黒髪	45-5001	桃林窯	山内町宮野	45-6186
汲古窯	武雄町永島	23-7401	中里茂右エ門窯	山内町犬走	45-2235	有遊遊窯	山内町宮野	45-3973
雅窯	朝日町甘久	23-3865	くろかみ窯	山内町宮野	45-3013	工房 侶英	山内町宮野	45-3632
絹雲窯	武雄町富岡	23-4054	花泉窯	山内町宮野	45-2059	株大乘窯	山内町宮野	45-5208
七ツ枝窯	朝日町中野	23-3856	陶六窯	山内町宮野	45-4701	閑古鍾窯	山内町宮野	45-4131
星野窯	北方町大崎	36-5743	玉峰窯	山内町宮野	45-2147	貴祥窯	山内町宮野	45-5114
弓野窯	西川登町小田志	28-2068	光峰窯	山内町宮野	20-7065	味乗窯	山内町宮野	45-2438
松保窯	西川登町小田志	28-2116	寿山製陶所	山内町宮野	45-3179	博泉陶芸	山内町宮野	45-2266
六平陶房	西川登町小田志	43-9292	そうた窯	山内町宮野	45-6185	有田焼工業協同組合	山内町宮野	45-2501
創作工房 土の舞	西川登町矢筈	28-2405	有天狗谷窯	山内町宮野	45-2205	一峰窯	山内町宮野	45-4056
小山路窯	東川登町永野	23-2318	雅人工房	山内町宮野	45-4654	杵島製陶所	山内町宮野	45-2133
内田皿屋窯	東川登町永野	23-3792	焼き物や古陶	山内町宮野	45-4780	葉山有樹窯	山内町宮野	45-2245
和光窯	東川登町永野	23-1352	満山窯	山内町宮野	45-4047	房 空路	山内町宮野	45-2234
亀翁窯	山内町三間坂	45-5285	有幸右エ門窯	山内町宮野	45-2209	立泉窯	山内町宮野	45-2382
株アートヒルズ	山内町三間坂	45-4880	有伝平窯	山内町宮野	45-2208			

《体験工房》

窯元名	住所	電話番号
武雄温泉新館	武雄町武雄	23-7622
飛龍窯	武内町真手野	27-3383

5. 観光資源

(1) 円応寺…武雄町大字富岡 10513 TEL 22-2336

円応寺は十一面観世音菩薩を本尊とする曹洞宗の寺で、永正 16 年（1519）に第 18 代武雄領主後藤純明を開基、了然禅師によって開山された武雄鍋島家の菩提寺。武雄領主 20 代以降のお霊屋があり位牌堂もある。参道に立つ 2 つの石門のうち、鳥居型石門は全体に強い反りがあり、両端は渦を巻いているのが特徴である。第 2 の門のアーチ型石門は切妻型の屋根で、精巧な石組みが特徴である。正面アーチ上部の「西海禅林」の額石は、第 28 代武雄領主鍋島茂義が 15,6 歳の頃の筆と言われている。境内にある半鐘は 1664 年に佐賀の谷口一門による製造で、佐賀県内の半鐘のなかでは鑄造年代が古く、金工史上からみても注目すべきものである。また、春には参道に約 100 本の桜が咲き、桜のトンネルをつくり出す。（3 月中旬～4 月初旬）



(2) 佐賀県立宇宙科学館 “ゆめぎんが”…武雄町大字永島 16351 TEL 20-1666

九州で最大規模の自然科学系博物館として佐賀県が整備したものである。5 つの展示ゾーン（宇宙発見ゾーン、地球発見ゾーン、佐賀発見ゾーン、科学のおもちゃ箱、こどもの広場）では、スペースサイクリングや宇宙トレーナーなど体験型アトラクションや随時各種ワークショップが行われている。ほかにも、最新式の投影機器を備えたプラネタリウムや天文台がある。

【開館時間】 9:15～17:15（平日）
9:15～18:00（土・日・祝）
9:15～19:00（GW・夏休み・春休み期間）

【休館日】 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
GW・夏休み・春休み期間中は無休 ※臨時休館あり

年末年始休館日 12 月 29 日～1 月 1 日

【料 金】

	常設展観覧		プラネタリウム		館内フリー観覧	
	個人	団体	個人	団体	当日	年間
大人	520 円	410 円	520 円	410 円	930 円	3,100 円
高校生	310 円	250 円	310 円	250 円	550 円	2,090 円
小中学生	200 円	160 円	200 円	160 円	360 円	1,570 円
幼児（4 歳以上）	100 円	80 円	100 円	80 円	180 円	1,040 円

(3) 如蘭塾…武雄町大字武雄 4322 TEL 22-2256

昭和 17 年佐賀市の野中忠太が私財を投じ、日満友好のため中国の子女を留学生として受け入れて教育を行い、日本の文化や日本家庭の実情に親しませ相互理解を深め、日中友好の交流拠点とすることを目的とした。平成 28 年に保存修復され、現在は研修施設として活用されている。

また、奨学金貸与や留学生の受け入れ等の事業は、（財）清香奨学会が引き続き行っている。如蘭塾迎賓館の中には皇帝溥儀の弟溥傑の書や、梧竹の書などがある。如蘭塾の設計はフランク・ロイド・ライトの弟子 遠藤新（1889～1951）であり、日本を代表する建築界の重鎮。

関連：御船が丘梅林 → (12)

（４）青銅製大砲…武雄町大字武雄 5304-1 武雄市図書館・歴史資料館 TEL 28-9105

青銅製大砲（モルチール砲）は、天保 6 年（1835）に日本人の手で最初につくられた大砲である。武雄領主第 28 代鍋島茂義は、西洋科学に関心を持ち、天保 3 年（1832 年）に部下の平山醇左衛門を長崎の西洋砲術第一人者高島秋帆の下で学ばせた。天保 6 年には、日本で最初の大砲「モルチール砲」を高島秋帆が武雄へ持参した。以前は武雄市図書館に展示されていた。

（５）武雄神社…武雄町大字武雄 5335 TEL 22-2976

武雄神社は御船山の東麓にあって、市内で最も古い神社の一つ。武内宿禰（たけうちのみこと）を主神とし、平安時代中期から室町時代末期にかけての古文書（国指定重要文化財）が残っているほど由緒ある神社である。また、ここの鳥居は肥前鳥居と呼ばれ、バナナのような形をしたユニークなものである。石造文化史上でも大変貴重とされている。

また、縁結びの御神木として『夫婦檜』がある。祭神である仲哀天皇・神功皇后の神威により 2 本の檜が根元で結ばれ、樹の中ほどで再び枝が合着したといわれる。仲睦まじいその様子から、根本は夫婦和合、繋がった枝は様々な縁を繋ぐ縁結びの象徴とされている。

社務所では武雄の大楠をあしらった金の見開き御朱印、夫婦檜をあしらった銀の見開き御朱印等もいただける。その他本殿には、令和 3 年に龍神が舞う様子の天井画（指図）が描かれている。

（６）武雄の大楠…武雄町大字武雄 5330 武雄神社 TEL 22-2976

全国巨木第 7 位、樹齢 3000 年以上。樹高 30m・幹回り 20m、枝張りは東西 30m・南北 33m。武雄神社の神木となっている。象の足を思わせる根元がごつごつした樹皮に覆われ、その中央が地表近くで口をあけている。また広さおよそ 12 畳の内部には、天神が祀られている。



市指定天然記念物

（７）塚崎の大楠…武雄町大字武雄 5563-2 文化会館北側

県内第 3 位の巨木。推定樹齢は 2000 年。昭和 38 年に落雷に遭い、本幹の 9m 以上が失われた。かつては根回りが 38m と壮大な姿を誇っていたと思われる。（樹高 18m（南側の史枝）・幹回り 13.6m、枝張りは東西 18m・南北 15m）



市指定天然記念物

関連：川古のクス → **（２４）**

（８）武雄温泉物産館…武雄町大字昭和 805 TEL 22-4597

焼物・銘菓・有明海の珍味をはじめ、西九州の物産や名産品を豊富に展示、販売している。また、市内の観光名所の紹介も行っている。食事や休憩に活用されている。弓野人形の絵付け体験が行われている。

《営業時間》 8：30～17：30（年中無休）

『おっ母さんの一膳めし屋』 TEL 22-4658（武雄温泉物産館併設）

武雄の愛情野菜をふんだんに使った料理が並ぶ、セルフサービス方式のお惣菜料理屋。

《営業時間》 11：30～14：00

（９）武雄温泉保養村…武雄町大字永島

武雄市街地南部に広がる保養村（敷地面積 100ha）には、5 つの宿泊施設（武雄温泉ハイツ、森のリゾートホテル、みなと荘、ユースホステル、ペンションピクニック）と、緑の芝生が広がる公園がある。新鮮な空気を作り出す豊かな緑と、健康・美肌効果の高い温泉は、心身のリフレッシュに最適である。

《せせらぎプロムナード》 カニや小魚が生息し、5 月下旬からはホテルの乱舞が楽しめる。

《蛍池・多目的広場》 森林浴やバードウォッチングが出来るリフレッシュゾーン。

《観光ボート》 TEL 23-2854

保養村の宿泊者や地元市民が楽しめる観光施設として、池の内湖に白鳥ボート（ペダルボート）と、手漕ぎボート（ローボート）を設置している。

【営業期間】 1/1～1/4・3/1～10/31（毎日）・11/1～2 月末（土日祝のみ営業）

【営業時間】 9：00～17：00 ※雨天・強風の場合中止

【料 金】 白鳥ボート…30 分 470 円（定員 3 人）/手漕ぎボート…30 分 390 円

【運 休 日】 1/5～2 月末の平日・11/1～12/31 の平日



◎保養村イベント ほたるまつり（5 月下旬～6 月上旬にかけて）水上美味暮まんじゅう大会、ビンゴ大会、フリーマーケットなど

（１０）武雄市図書館・歴史資料館／武雄市こども図書館

…武雄町大字武雄 5304-1 TEL 20-0222

平成 25 年 4 月 1 日より、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が運営。

従来の図書無料貸し出しはもちろんのこと、併設されたカフェで購入したコーヒーを飲みながら本を読むことも可能。本や雑誌、雑貨の購入もでき、様々なワークショップや講座も随時行われている。平成 29 年 10 月には隣に「武雄市こども図書館」が完成。こどもの目線にあわせて造られたこの施設は、子どもたちに自分で興味をもって、本を手取る仕掛けが多数。2 階のフードコートには九州パンケーキカフェが入っており、地産地消にこだわる九州素材を使ったメニューを提供している。

《開館時間》 9:00～21:00（年中無休）

（１１）武雄市文化会館

武雄市文化会館は旧武雄鍋島邸跡に建つ文化施設で、ホール・会議室・音楽室・アトリエ・陶芸室等を備えている。ホールは大ホール・小ホールがあり、コンサート・式典・大会が行われる。庭園は第 28 代武雄領主鍋島茂義によって造園されたもので、春の桜・ツツジ・シャクナゲ、梅雨時期の竹林の新緑、秋の紅葉など四季折々の自然の美しさを堪能することが出来る。

（１２）御船が丘梅林…武雄町大字武雄 5166 清香奨学会 TEL 22-2256

御船山の東山麓一帯に広がる約 16 万 5,000 m²の敷地に、2 月中旬から 3 月上旬にかけて「一目 1 万本」の梅の花が咲き誇る。

《本 数》 約 3,000 本（樹齢 50 年、昭和 17 年に植樹）

《種 類》 紅加賀、白加賀

《見 頃》 2 月中旬～3 月上旬

《経過・由来》 「如蘭塾」（4）の開校とともに設備された。

梅は中国の原産であり、日本では学問の神として信仰されている菅原道真が愛好した花であることから、敷地内の丘陵地約 16 万 5,000 m²に 1 万本の梅を植えられた。梅の見頃は 2 月上旬～3 月中旬、現在でも約 3000 本の梅が咲き誇る。期間中は茶屋がオープンし、名物「梅の花餅」がいただける。入園料無料。

《イベント》

御船が丘 梅林茶屋 OPEN (2月上旬～3月中旬)

うめ～ランド (5月下旬または6月上旬の日曜日) うめちぎり、梅の種飛ばし大会など

(13) 御船山楽園…武雄市大字武雄 4100 TEL 23-3131

御船山麓にある武雄領主鍋島茂義の別邸跡(造園は1845年)を元に明治時代に庭園を拡張し、サクラ・ツツジを増殖したことで遊覧の名所となった。3月下旬になると2,000本の桜(染井吉野・八重桜など)が御船山の切り立った断崖の緑を鮮やかな色彩に引き立てる。その後、4月中旬から5月上旬にかけて20万本のツツジ(久留米つつじ・霧島つつじ)や藤(白房・紫房)や石楠花が、紅・朱・白・桃と華やかな色彩の世界を創り出す。特にツツジの開花時期には広い園内が一面、ツツジの絨毯を敷き詰めたようになる。

平成22年2月には国登録記念物に登録された。



《営業時間》 年中無休 8:00～17:30

《料金》 通常 大人400円／子供200円 ※時期により入園料が若干前後する。

《施設》 茶屋、土産店
駐車場300台(大型バス可)

《イベント》 花まつり3月15日(金)～5月6日(金)
桜ライトアップ(3月15日～4月12日)
つつじ・ふじ(4月13日～5月6日)
デジタルアート展(7月中旬～10月下旬)
紅葉まつり／夜間ライトアップ(11月上旬～12月上旬)

(14) 廣福寺「木造四天王立像」…武雄町大字富岡 7438 TEL 22-2649

木造四天王立像は作風から鎌倉時代中期に慶派によって作られたと推定されている。極色彩の等身大の四軀で、持国天・増長天は邪鬼を踏み躍動的であり、広目天・多聞天は口を閉じて沈思の姿をしている。桧の寄木造で、内割りがあり玉眼(水晶)が施されている。国指定重要文化財。この他にも、寺内には指定文化財があり、紅葉の名所でもある。

- ・銅鐘
- ・鬘蔓尊者像…文禄慶長の役の折、船の重しとしたものを
持ち帰った。朝鮮渡りの石像。
- ・胡椒柿…元は聖一国師が宋から帰国するとき使った杖
で、それを逆さにして立てられたのが根付いたもの
だと言われている。
- ・犬切観音…犬が吠えるのに腹を立てた獵師が犬の首を切り落と
したところ、その首が飛んで獵師を狙っていた大蛇をかみ殺して助けた。獵師
は自分の行いを悔いて犬の冥福を祈って観音像を作った。

《開館日》 ※要予約 (11月の紅葉シーズンは一般に拝観を受付)

《時間》 9:00～17:00 拝観受付16:00まで

《拝観料》 300円(団体30人以上 250円) 中学生以下 150円



(15) 陽光美術館・慧洲園…武雄町大字武雄 4075-3 TEL 20-1187

古陶磁や翡翠などの中国美術のコレクションに加え、故人間国宝中島宏氏の作品もコレクションし、テーマごとに特別企画展を開催する。慧洲園は、九州随一と言われる約4千坪の純日本庭園。中根金作による作庭で、茶畑と御船山を背景とした石組みの間を水が流れ、変化に富んだ植え込みで壮大な名園美を構成している。

《営業時間》 10:00～16:00 (水曜休館)

《料金》 個人…大人1,000円、学生(高専大)800円、小中学生 無料
団体(15名以上)…100円割引



(16) 竹古場キルンの森公園「飛龍窯」…武内町大字真手野 24001-1 TEL 27-3383

武内町黒牟田地区に、陶芸の里武雄の拠点として作られた。飛龍窯は4つの房から成り、その一つの房の大きさは奥行き8.9m、幅3.8m、高さ3.4mで大型バス1台と同じくらいの規模である。全長は23mで、一度に約12万個の湯飲みを焼成することができ、世界一の容積を誇った。園内には、貸出しが出来る登り窯「向窯」もある。また、工房ではろくろや絵付け、手びねり体験ができ、陶芸教室も行われている。

工 房 《開館時間》 9:00～17:00 火曜・12/28～1/3 休館
《体験》 絵付け体験・手びねり体験・ろくろ体験(有料)
《工房貸出し》 向窯・ガス窯・電気窯・電動ろくろ(有料)



(17) 土師場物原山…武内町大字真手野

現在の黒牟田焼宣政窯のすぐ裏手にあり、陶器のかけらが積み重なって小高い山になっている。これは江戸時代中期から営まれた土師場物原窯の不良品捨てた場所である。黒牟田系の窯はこの一帯に集結しており、周辺を探索すると多種多様な品種を見つけることができる。俗に言う「くろんた徳利」「くろんたの土瓶」をはじめ、湯たんぽに至るまで人々の生活を支える製品を作っている。

(18) おつぼ山神籠石…橘町大字大日

7世紀後半の構築と推定され、2ヶ所の水門跡や柵柱の跡から外敵の侵攻を防ぐ為の朝鮮式の城壁であることが確認されている。おつぼ山の特徴はずらっと並んだ四角に加工された城壁の基礎石「列石」である。昭和38年、神籠石で調査され、「神籠石は山城」との結論を出した、考古学上大きな意義を持った遺跡。全国で8番目に発見され、国の史跡に指定されている。

(19) 森とリスの遊園地 メルヘン村…西川登町大字神六 20040 TEL 28-2835

自然がいっぱいの森の遊園地。森の遊園地で、動物ランド・大型テントドーム・芝生グラウンド・ミニ遊園地(ミニジェットコースター、観覧車、メルヘン列車等…有料)・ドッグランなどがあり、家族で一日楽しく遊べる。嬉野インターから車で5分。年中無休。

《営業時間》 9:30～17:00

《料金》 大人1,100円、3歳～中学生700円、2歳以下 無料
シニア(65歳以上)880円
団体(20人以上): 大人880円、3歳～中学生560円



（２０）黒髪山…山内町大字宮野

黒髪山は至るところに奇岩、巨岩がそびえたち、その特異な景観は、約４千万年前の噴出によるものである。また、カネコシダ（国指定天然記念物）やクロカミランなど珍しい植物の宝庫で、「21世紀に残したい日本の自然百選」にも選ばれた。

黒髪山には天童岩に巻きついた大蛇を源為朝が退治した伝説や、山に入って消えた男女が夫婦岩になったという伝説が残されている。

昭和12年には県立自然公園に指定され、春夏秋冬それぞれで違った表情を見せてくれる山は、四季を通じていろんな楽しみ方ができる。

黒髪の森温泉「天童の湯」…山内町大字宮野 1593-2 TEL 0120-870-026

黒髪山の麓にある温泉。大自然の中にたたずむ隠れ温泉で、山歩きやウォーキングで疲れた体をリフレッシュ。景勝黒髪山を背景に温泉が楽しめる。

《開館時間》11:00～19:00（受付 18:30 まで） 《休業日》水曜日

《入 浴 料》大人 400 円・子供 200 円・幼児 100 円

《泉 質》ナトリウム塩化物泉・炭酸水素塩泉

《適 応》神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、打ち身など

《源泉温度》40.8℃

（２１）乳待坊公園…山内町大字宮野

黒髪山随一の景勝地といわれる乳待坊公園。展望台からは黒髪山が一望でき、自然のすばらしさと黒髪山の神秘を感じることができる。かつてこの周辺は修験道の行場でもあったことから、うっそうとした森林と雄々しい奇岩がそびえる。桜や紅葉の名所としても親しまれている。

（乳待坊公園キャンプ場予約受付：080-2157-0357）

17:00 以降の利用 テント・タープ 1 張 ￥1,100



黒髪山（雌岩・雄岩）

（２２）神六山…山内町大字鳥海

「緑と憩いの場」というキャッチフレーズのとおり、野鳥の森や遊歩道などが整備され、自然の魅力をたっぷりと体感できる。また、長崎県との境界にまたがるふれあいキャンプ場からは、有明海を臨むことができる。（神六山公園キャンプ場問合せ先：山内公民館 TEL 45-2139）

（２３）道の駅 山内「黒髪の里」…山内町大字三間坂甲 14697-2 TEL 45-6009

ドライバーの休憩所として、道を利用する人のために設置された道の駅。山内町の道の駅「黒髪の里」は、地元の新鮮野菜や黒髪ブランドの特産品「黒米」を使用したパンや麺、お土産が所狭しと並んでいる。武雄市で活躍する窯元の作品が並ぶ焼物コーナーもあり、毎日たくさんの人で賑わっている。

《営業時間》 8:30～18:00

《休 館 日》 年末年始（12月31日～1月3日）

(24) 川古の大楠公園…若木町大字川古 7843 TEL 26-2920

公園内にある川古のクスは全国巨木第5位、樹齢3000年以上と言われており、国の天然記念物に指定されている。樹高25m・幹回り21m、枝張り東西・南北27m。本幹は空洞化しており西方で開口している。中には稲荷の石碑が祀られている。奈良時代に僧行基が訪れ、大楠の一部に観音立像を刻んだという伝説がある。平成7年に「巨木の里づくり」の一環として川古の大楠公園が整備され、幹からはがれていた観音像も堂宇に祀られるようになった。また、明治時代に青木月斗がこの地を訪れた際に詠んだ句「福明かり 三千年の楠大樹」が句碑として建立され、臼4基とひき臼1基を備えた水車館も建設された。

平成7年4月29日に開園した川古の大楠公園内の為朝館には、地元の伝説である源為朝による黒髪山の大蛇退治を題材としたカラクリ人形を設置。地元の伝説（黒髪山の大蛇退治）をカラクリ人形の劇で紹介する。この人形の衣装は、和紙人形作家の中西京子作である。

大楠公園為朝館 《休館日》年末年始(12/28～1/3) 《営業時間》 9:00～17:00

《料金》カラクリ人形上演 1回310円 (上映時間10分)

※無料上演 10:00/12:00/15:00

精米・製粉 210円/15k (6時間程度)

参 考

全国巨木1位 蒲生の大クス (鹿児島県 八幡神社)

2位 クスノキ (静岡県 来の宮神社)

3位 ガジュマル (沖縄県 島尻郡東風平町)

4位 北金ヶ沢のイチョウ (青森県 西津軽郡深浦町)

5位 川古のクス (佐賀県)・クスノキ (福岡県 築上郡築城町)

7位 武雄の大楠 (佐賀県)



国指定天然記念物

※順位の基準…目の高さ(地上から約1.3m)で測った幹回り

(25) 大聖寺…北方町大字大崎 6694 TEL 36-4934

北方町の杉岳山にある大聖寺は、709年に僧行基が開基したもので、不動明王と脇立二童子をお祀りしている。寺宝の伝説には、源為朝が黒髪山の大蛇退治に向かうとき、大聖寺で祈願を行い無事退治したので、願成就のお礼に明王剣と大蛇の歯を奉納したとある。「アジサイ寺」とも呼ばれるこの寺は、6月から7月にかけて境内一面に約5,000株のアジサイが咲き誇る。また、境内には県指定天然記念物のマキの木(推定樹齢500年以上)、モチの木とカシの木が結びついた「夫婦円満・縁結びの木」がある。

《開館日》 必要電話確認

《拝観時間》 9:00～18:00

《拝観料》 200円(美化協力費として)

《施設》 駐車場50台

《主な祭り等》 お不動さんまつり(年2回・2月23日/6月の第4日曜日)
あじさい祭り(6月上旬～7月初旬)



(26) 高野寺…北方町大字志久 3245 TEL 36-3616

鎌倉時代の古文書に、「いかなる罪人も高野寺の境内に走り候えば、その罪も免じる」とある高野寺。境内には約20種類1,000本の日本シャクナゲと西洋シャクナゲがあり、4月～5月にかけて見頃を迎える。

《開館日/拝観時間》 必要電話確認

《施設》 駐車場有

《主な祭り等》 シャクナゲ祭り

(4月初旬～5月初旬 ※期間中拝観料500円)



（２７）きたがた四季の丘公園…北方町大字志久

芝生広場・遊技広場・ふれあい広場のほか、春にはたくさんの花を咲かせる「花見の丘」、夏には涼しく遊べる「せせらぎ」「水辺広場」、秋には是非散策したい「紅葉の谷」など、四季折々の特徴を持ち、子供から大人まで楽しく遊べる公園。

公園内には炭鉱の資料館があり、昭和 40 年代まで続いた石炭産業にまつわる資料や、炭鉱で使用されていた採掘機器、写真パネルを展示している。2 階には農業に関する道具や農作業の移り変わりを説明した資料を展示している。

（２８）北方温泉 四季の里 七彩の湯…北方町大崎 4300-1 TEL 36-5926

自家源泉の天然温泉が自慢で、柔らかな肌触りが特徴。保湿効果に優れており、乾燥肌・オイリー肌・冷え性に効果的なトロトロのお湯。

《開館時間》10:00～23:00

《入 浴 料》大人 700 円・子供 300 円・幼児 1 名無料、2 名 300 円

《泉 質》ナトリウム炭酸水素塩泉（弱アルカリ性イオウ温泉） PH／8. 37

《適 応》神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、冷え症など

《源泉温度》36. 50℃

（２９）長崎街道

江戸時代の鎖国により日本では長崎が唯一の海外貿易の窓口になり、長崎から江戸への人馬の交通量が急速に伸びた。長崎～小倉間の全長 228 km は長崎街道と言われ、重要な役割を果たすこととなった。長崎の出島から入ってきた海外の新しい文化や情報が運ばれた。

市内の街道は、江戸時代の前期までは「塩田→鳴瀬→北方」が主要ルートだったが、たびたびの水害の為に往来ができないことが多かったので、享保年間（1716～1736）に「嬉野→川登→瀏尾→武雄→朝日」のコースに変更された。

○北方宿

《北方本陣跡》

天保 10 年（1839）建立の本陣跡で、明治 36 年（1903）に茅葺から瓦葺に変えられた。当家は江戸時代商業を営み、その後炭鉱経営にも着手した。文化 9 年（1812）には、伊能忠敬も宿泊している。

《追分石》

北方宿から長崎街道と伊万里道の分岐点にあたり、「さか」「たけを」、裏側には「いまり」と書かれた追分石の斜め前には、問屋場や高札所があった。

《六地藏》

街道筋で出会う 6 基の六地藏は、そのほとんどが永禄年間（1558～1570）の建立で、戦国時代の度重なる戦禍が偲ばれる。

《追分観音》

長崎街道の塩田道と武雄道との分岐点、その武雄側にある御堂に安置されている観音。旅人たちは道中の安全を願った。

《十三塚》

十三の板碑が並ぶ十三塚は、戦国時代の供養塔と考えられている。伝説では、木元父子の免罪事件で処罰された役人十三人の塚と伝えられている。またこの墓地では寛延三年（1750）の諫早一揆の鎮圧を命じられた多久領主が農民五名を処刑したといわれている。

《稲主神社》

第 5 代武雄領主後藤清明が稲主大名神として木元父子を祀ったといわれている。倉稲魂命や海津見神など、ここに祀られている神々は、稲作の守護神としてあがめられ、初秋には五穀豊穡を祈願する浮立奉納が行われる。

○塚崎宿

《本陣》

参勤交代の大名や公家、あるいは幕府の奉行や諸大名たちの急速・宿泊所で、今の温泉楼門を入ったところに湯屋（浴場）と隣接してあった。湯坪は身分別・階級別に区分されていた。前もって馬の尾で作った細かい篩で漉した湯をたたえた藩主・領主専用の湯坪は御前湯といって最高級の湯だった。

《脇本陣》

複数の大名が同じ宿場に泊まると、格式上位の大名が本陣に、他の大名は脇本陣を利用した。脇本陣は現在の東洋館の場所にあった。

《代官所》

間口 12 間の堂々たる建物で、現在の春慶屋の場所にあった。

《宮本武蔵の井戸》

二刀流で有名な剣豪宮本武蔵は、寛永 14 年（1637）島原の乱の時、平戸屋（現東洋館）に宿泊し、そのとき使ったとされる井戸が残っている。平戸屋に武蔵を訪ねてきた多久の百姓静馬が、父の敵討ちを果たすため、弟子入りして武者修行したいと申し出た。武蔵は、静馬を熊本に連れて帰り武芸を教え、その後無事に敵討ちを果たしたと伝えている。

《淀姫神社・芭蕉の句碑》

淀姫神社の祭神は、トヨタマヒメ。第 2 代武雄領主後藤資茂が武雄に下向したとき、温泉の守り神として祀ったと言われている。淀姫神社境内の自然の岩に、芭蕉が元禄 7 年（1694）に詠んだ「蓬萊に 聞かばや伊勢の 初だより」という。この句は全国 7ヶ所で刻まれている。隣の岩にも一句「しら菊や ほのかに匂ふ 夕月夜」とある。作者は鶴堂仙で、武雄の人である。

《札の辻》

公儀のご法度や藩の覚書などの制札（高札）を掲示する高札場があり、近所には馬駅（馬次所）があった。高札は特に交通の多い街角の人の見やすい場所に設置された。高札を災害から守るため、24 人組ができていた。いざ火事というときには、この組からすぐ傍らの井戸に高札を沈め、石像の恵比須さんを重石にして守ったという。

《鍵型道路》

この道路は、上から見ると雷光形をしており、敵が攻めてきた場合にはその勢いを殺ぐ戦略道路の一つであった。この一帯を十間堀という。この地名は、防火用水をためる為に掘られた、長さ 10 間の堀割が由来になっている。

《中村凉庵旧宅》

幕末の医師中村凉庵は、長崎でシーボルトの最新医学を習得して帰郷。天保 2 年（1831 年）武雄に帰り開業した。天保 10 年（1839 年）自分の妹の子と茂義の子茂昌に、種痘を行い成功した。領主鍋島茂義の侍医となった凉庵は、長崎でオランダ医官ボードウィンについて西洋医学を学び、武雄では西洋医学の開祖とされた。明治 3 年（1870 年）には今の県立病院の前身である好生館の副院長に就任した。

《宮野町》

宮野町は昔寺町とも呼ばれていた。慶長 4 年（1599）、領主後藤家信のとき、黒髪山の麓にあった居城としていた住吉城、御船山の麓武雄城（塚崎城）に移り、その時住吉村宮野にあった数々の寺院を移して宮野町と呼ぶようになった。当時は浄土真宗に対する取締りが必要であったことと、いざ戦争と言うときに兵の集結や連絡のことを考えて、狭い範囲に浄土真宗のお寺が 10 寺集まっていた。現在は 4 寺が残っている。

《鷺田神社》

大昔、武雄温泉一帯は人も近づけないほど陰しいところで、巨岩奇岩の深い谷間があった。白鷺が毎日その谷間に舞い降りるので、一人の獵師が不思議に思い近づいてみると、白鷺が傷ついた足をお湯で洗っていたという。これが武雄温泉開湯の伝説の一つとなっている。里人は、温泉を白鷺の湯と呼び、白鷺は武雄温泉の象徴とされた。そこで白鷺の止まった森を「鷺の森」と名付け、小さい祠を建てて「鷺明神」を祀ったのが鷺田神社の由来である。

《牛鼻山》

新町の東寄り一帯を昔は牛鼻山と呼んでいた。平安時代の末、若木町に館を構えていた源為朝は、領主助明に頼まれて有田町の白川に出没する大蛇を退治した。大蛇のうろこが牛の背に積まれ、太宰府に行くために武雄を通ったが、新町の西の入口までくると牛が鼻をついて動かなくなったという。以後この町は牛の鼻町と呼ばれ、明治になってから新町と呼ばれた。善念寺の山号は「牛鼻山」という。

《西福寺》

文禄 3 年（1594 年）住吉城の郊外に建立された浄土宗の古い寺。住吉城が消失し家臣が武雄に移住したため、この寺も現在地に移転。本堂にある阿弥陀如来像はいわくつきの物、半鐘は市の文化財指定。また、ここの山門は楼門の形をしている。

《廣福寺》

※別所にて説明

《諏訪神社》

13 世紀末、第 5 代後藤清明の次男、次郎共明がその領地八並を与えられ分家し、館を定めたとき守護神として祀ったのが諏訪神社である。本社は長野県諏訪市にある。戦いの神、農業の神としてあがめられてきた。朝廷の崇敬厚い神様であった。祭神は、タケミナカタノ神、ヤサカトミノ神、戦の神、農業の神である。境内には伊勢講碑、裏手には「八並さん」と呼ばれる大きな五輪塔がある。

《八並の石塔》

1193 年源頼朝が、富士の裾野で催した「巻狩り」は、曾我兄弟の父の敵討ちで知られているが、父の仇がこの巻狩りに参加していることを知って忍び込み、無事に敵を討った。しかし、陣中は大騒ぎとなり兄の十郎は殺され、弟の五郎は捕らえられた。その後、十郎の許婚者虎御前は黒髪を切り落とし、兄弟の冥福を祈るために善光寺の尼さんになり、佐賀の小城の里に西国一といわれる岩蔵寺が建つと聞き九州に下り、その途中の中国と四国に石塔を建てて兄弟の冥福を祈り、三番目に建てたのが八並の石塔であると伝えられている。

《武雄城跡》

別名を塚崎城ともいう。本丸・二の丸・三の丸をもつ城で、一国一城令で本丸を壊し、武雄領主の居館となり、領内の行政機関等もおかれていた。本丸西端部には当時の石垣が一部残されている。

（30）九州オルレ・武雄コース



オルレとは済州島の方言「家に帰る細い道」という意味で、済州島の魅力を広めるために済州オルレが提案したウォーキングコースを表す。韓国ではトレッキングの国民的な流行に乗って大きなブームとなっており、すでに済州オルレという名称は、韓国国内ではブランドとして定着している。

この済州オルレと九州観光推進機構が業務協定を結び、九州の魅力的なハイキングコースを「九州オルレ」として選定することとなり、第 1 弾で平成 24 年 3 月に武雄コースを含む 4 コースが第 2～4 弾で各 3～4 コースが加わり、現在 21 コースとなっている。

コース内の要所には馬のかたちをしたカンセと呼ばれる標識や、木製の矢印などが設置されている。馬の頭や赤・青の矢印、赤と青のリボンが、オルレを訪れた人々に進行方向を示す案内表示である。



距離：12km、所要時間：3.5～4.5 時間



(31) タケさんぽ

九州オルレの様に誰でも参加でき、武雄の自然の中を気軽にお散歩する、武雄発のウォーキングコース。リボン、矢印をめぐりながら、地域の魅力を再発見。地域の観光資源を活用し、グルメや穴場スポットを楽しむことができる。

《黒髪コース》

黒髪コースは、タケさんぽの第1弾コース。黒髪山の大自然を感じながら、史跡や麓の武雄焼の窯元巡りも楽しめる。

《若木コース》

大楠のパワーを感じ、のどかな風景と人に癒されるコース。誰でも参加できて、短時間でまわる事ができる。美味しいものもたくさん。季節によって変わる周辺の観光スポットも魅力のひとつ。

《北方コース》

武雄市自慢の北方グルメと長崎街道の歴史に触れるコース。平坦な道が多いため歩きやすく、平野と長崎街道の街並みの両方の風景が楽しめる。初心者向けコースと歩きを楽しみたい方向けの2コース。

《橘コース》

水にまつわる町の成り立ちと広大な田畑の風景を堪能できるコース。水と共に歩んできた橘の歴史に触れつつ、橘町が誇るブランド米「さがびより」が育つ季節の風景を楽しむことのできるのんびりしたコース。

《東川登コース》

江戸時代の長崎街道と昭和・平成の長崎街道（国道 34 号線、長崎自動車道、九州新幹線西九州ルート）が織り成す新旧の“街道”の風景に触れるコース。特に秋にはコスモス街道や郷土芸能など、地元の人が守り続ける美しい景観を楽しみながら歩くコース。

《武内コース》

武雄のやきものの 420 年を超える歴史と、それを支えた自然を巡るコース。豊臣秀吉の朝鮮出兵の折、武雄領主後藤家信の帰着と共に来日した武雄のやきものの祖・深海宗伝の足跡や古窯跡、現代の窯元を訪ね、源となった良質な土・水・薪を生んだ「陶芸のふるさと」をめぐるコース。

《西川登コース》

のどかな風景の中にある西川登の歴史や自然を探訪するコース。昔からお茶の生産も盛んで茶畑があり、民芸品の「弓野人形」や「浮立面」などにも一見の価値があります。春限定の約 600 本の桜が咲き誇る「庭木ダム」を一周するコースも有。

《朝日コース》

四季が織りなす自然の美しさを堪能できるコース。ユニークな特徴を持つ神社や、江戸時代～明治期に県西部の商業の中心地であった高橋の町並み等、朝日町の歴史に触れることもできます。お散歩の後には、バラエティ豊かな飲食店でランチをお楽しみいただけます。

国・県・市指定文化財一覧表(佐賀県武雄市)						
	指定区分	種 別	名 称	員 数	指 定 年 月 日	所 在 地
1	国	天然記念物	カササギ生息地		大正12年3月7日	武雄市全域
2	国	天然記念物	川古のクス	1株	大正13年12月9日	若木町川古
3	国	天然記念物	黒髪山カネコシダ自生地		昭和2年4月8日	山内町宮野
4	国	史跡	肥前陶器窯跡	市内 4箇所	昭和15年2月10日	
			・小峠窯跡		平成17年7月14日 追加指定・名称変更	武内町真手野
			・大谷窯跡			武内町真手野
			・鯖谷窯跡			武内町真手野
			・土師場物原山			武内町真手野
5	国	彫刻	木造四天王立像	4軀	昭和25年8月29日	武雄町富岡
6	国	史跡	おつぼ山神籠石	1地域	昭和41年6月21日 平成16年9月30日 追加指定 及び一部解除	橘町大日
7	国	無形民俗	武雄の荒踊	3団体	昭和52年5月17日	
			・中野の荒踊			朝日町中野
			・宇土手の荒踊			東川登町袴野
			・高瀬の荒踊			西川登神六
8	国	古文書	武雄神社文書	25巻	昭和54年6月6日	佐賀県立図書館(寄託)
9	国	史跡	肥前磁器窯跡 百間窯跡	1箇所	昭和55年3月24日	山内町宮野
10	国	建造物	武雄温泉新館及び楼門	2棟	平成17年7月22日	武雄町武雄
11	国	歴史資料	武雄鍋島家洋学関係資料	1括	平成26年8月21日	武雄市立図書館・歴史資料館
1	国	登録建造物	如蘭塾塾舎及び寄宿舍	1棟	平成11年8月23日	武雄町武雄
2	国	登録建造物	如蘭塾迎賓館	1棟	平成11年8月23日	武雄町武雄
3	国	登録建造物	桑原家住宅主屋	1棟	平成17年7月12日	朝日町甘久
4	国	登録建造物	杉森家住宅主屋	1棟	平成21年11月2日	山内町宮野
5	国	登録建造物	杉森家住宅二階門	1棟	平成21年11月2日	山内町宮野
6	国	登録記念物	旧武雄邑主鍋島氏別邸庭園 (御船山楽園)		平成22年2月22日	武雄町武雄
1	県	古文書	源頼朝加判平盛時奉書	1通	昭和28年11月3日 昭和50年2月24日 追加指定	武雄市立図書館・歴史資料館
2	県	彫刻	銅造薬師如来立像	1軀	昭和34年3月20日	北方町芦原
3	県	無形民俗	かんこ踊	1団体	昭和41年4月23日	山内町鳥海
4	県	考古資料	銅鉾	1口	昭和52年3月11日	武雄市立図書館・歴史資料館
5	県	天然記念物	大聖寺のまき	4株	昭和53年3月20日	北方町大崎
6	県	考古資料	潮見古墳出土遺物	1括	昭和54年3月31日	武雄市立図書館・歴史資料館
7	県	史跡	潮見古墳	1基	昭和54年3月31日	橘町永島
8	県	無形民俗	真手野の舞浮立	1団体	昭和54年3月31日	武内町真手野
9	県	有形民俗	荒踊絵馬	1面	昭和54年3月31日	山内町鳥海
10	県	有形民俗	面浮立絵馬	1面	昭和54年3月31日	武雄市立図書館・歴史資料館

11	県	史跡	矢ノ浦古墳	1基	昭和55年3月21日	武雄町永島
12	県	考古資料	矢ノ浦古墳出土変形獣帯鏡	1面	昭和55年3月21日	武雄市立図書館・歴史資料館
13	県	考古資料	矢ノ浦経塚出土遺物	1括	昭和55年3月21日	武雄市立図書館・歴史資料館
14	県	史跡	筒江窯跡 (附)庚申刻字塔、 再興記念碑、石祠 各1基	1基	昭和56年3月16日	山内町宮野
15	県	考古資料	茂手遺跡出土有鉤釧形銅製品	1箇	昭和57年3月19日	武雄市立図書館・歴史資料館
16	県	絵画	絹本着色阿弥陀八大菩薩像	1幅	昭和60年3月20日	佐賀県立博物館(寄託)
17	県	絵画	絹本墨画淡彩善財童子歴参図	1幅	昭和60年3月20日	佐賀県立博物館(寄託)
18	県	絵画	絹本墨画淡彩楊柳観音像	1幅	昭和60年3月20日	佐賀県立博物館(寄託)
19	県	絵画	絹本着色釈迦三尊及び比丘像	1幅	昭和60年3月20日	佐賀県立博物館(寄託)
20	県	彫刻	木造釈迦如来坐像	1軀	昭和60年3月20日	武雄町富岡
21	県	彫刻	銅造誕生仏	1軀	昭和60年3月20日	佐賀県立博物館(寄託)
22	県	考古資料	みやこ遺跡出土木製鞍前輪	1点	平成元年3月27日	武雄市立図書館・歴史資料館
23	県	考古資料	柊島山1号及び2号石棺墓 出土遺物	1括	平成元年3月27日	佐賀県立博物館
24	県	考古資料	東宮裾遺跡甕棺墓出土遺物	1括	平成元年3月27日	佐賀県立博物館
25	県	史跡	玉島古墳	1基	平成2年3月30日	橘町大日
26	県	考古資料	釈迦寺遺跡出土遺物	1括	平成3年3月30日	武雄市立図書館・歴史資料館
27	県	史跡	多蛇古墳	1基	平成6年3月31日	朝日町甘久
28	県	無形文化財	陶芸染付和紙染		平成6年3月31日	東川登町永野
29	県	古文書	鶴田家文書(因幡守勝系)	1括	平成9年5月9日	武雄市立図書館・歴史資料館
30	県	工芸品	鉄絵緑彩松樹文大皿	1口	平成22年3月12日	武雄市内
31	県	名勝	旧武雄邑主鍋島氏別邸庭園 (御船山楽園)		平成31年4月26日	武雄町武雄
1	市	天然記念物	武雄の大楠	1株	昭和45年7月15日	武雄町武雄
2	市	建造物	武雄神社の肥前鳥居	2基	昭和48年2月20日	武雄町武雄
3	市	工芸品	潮見神社の懸仏	1体	昭和48年2月20日	橘町永島
4	市	工芸品	銅 鐘	1口	昭和49年4月15日	武雄町富岡
5	市	建造物	石造八並の塔	1基	昭和49年4月15日	武雄町富岡
6	市	彫刻	石造狛犬	1対	昭和49年4月15日	西川登町神六
7	市	古文書	武雄鍋島家文書	62通	昭和50年4月25日	武雄市立図書館・歴史資料館
8	市	有形民俗	石造六地藏	1対	昭和53年3月9日	山内町宮野
9	市	建造物	石造六地藏	1基	昭和53年3月9日	山内町宮野
10	市	有形民俗	石造六地藏	1基	昭和53年3月9日	山内町大野
11	市	史跡	立中(塔頭)		昭和53年3月9日	山内町鳥海
12	市	史跡	住吉城趾	1城	昭和53年3月9日	山内町宮野
13	市	建造物	石造宝篋印塔	2基	昭和54年4月12日	若木町川古
14	市	工芸品	円応寺の半鐘	1口	昭和54年4月12日	武雄町富岡
15	市	工芸品	石造十三仏板碑	1基	昭和56年3月30日	山内町大野
16	市	工芸品	石造閻魔王像	1体	昭和56年3月30日	山内町宮野
17	市	工芸品	西光密寺の懸仏	3面	昭和56年3月30日	山内町宮野
18	市	工芸品	石造風神・雷神像	1対	昭和56年3月30日	山内町宮野

19	市	考古資料	牛ノ谷経塚出土品	1括	昭和58年6月6日	武雄市立図書館・歴史資料館
20	市	考古資料	おつぼ山青銅経筒	1口	昭和58年6月6日	武雄市立図書館・歴史資料館
21	市	無形民俗	志久七囃子浮立	1団体	昭和58年12月17日	北方町志久
22	市	建造物	石造眼鏡橋(宿田橋)	1基	昭和59年4月1日	山内町鳥海
23	市	工芸品	西福寺の半鐘	1口	昭和60年4月22日	武雄町武雄
24	市	天然記念物	塚崎の大楠	1株	昭和60年4月22日	武雄町武雄
25	市	無形民俗	大日の皮浮立	1団体	昭和62年4月1日	橘町大日
26	市	無形民俗	袴野面浮立	1団体	平成4年3月9日	東川登町袴野
27	市	建造物	円応寺アーチ型石門	1基	平成5年4月30日	武雄町富岡
28	市	建造物	円応寺鳥居型石門	1基	平成5年4月30日	武雄町富岡
29	市	考古資料	郷ノ木遺跡出土小形仿製鏡	1面	平成6年4月27日	武雄市立図書館・歴史資料館
30	市	彫刻	川古のクス幹彫り観音立像	1躯	平成6年11月30日	若木町川古
			(附)銅造如意輪観音坐像	1躯		
31	市	彫刻	木造後藤貴明公像	1躯	平成7年5月2日	武雄町永島
32	市	典籍	南樞志	78冊	平成7年5月2日	武雄市立図書館・歴史資料館
33	市	無形民俗	武雄供日の流鏝馬行事	1団体	平成7年11月8日	武雄町・朝日町
34	市	有形民俗	炭鉱絵馬	1面	平成9年9月5日	武雄市立図書館・歴史資料館(寄託)
35	市	有形民俗	四季耕作図絵馬	1面	平成9年9月5日	武雄市立図書館・歴史資料館(寄託)
36	市	歴史資料	有馬之役戦死者慰霊碑	1基	平成10年4月3日	武雄町富岡
37	市	彫刻	如来形座像浮彫	3面	平成11年3月3日	山内町宮野
38	市	工芸品	五鈷杵	1口	平成11年3月3日	山内町宮野
39	市	有形民俗	四季耕作図絵馬	1面	平成11年3月3日	佐賀県立博物館(寄託)
40	市	有形民俗	天井絵	150面	平成11年3月3日	山内町鳥海
41	市	彫刻	薬師如来立像	1体	平成11年3月3日	山内町鳥海
42	市	建造物	俱利伽羅龍王碑	1基	平成11年4月30日	北方町大渡
43	市	彫刻	陽刻線描宝塔	1基	平成15年3月27日	武雄町武雄
44	市	建造物	黒髪神社の肥前鳥居	3基	平成15年3月27日	山内町宮野
45	市	無形民俗	黒髪神社の流鏝馬神事	1団体	平成15年3月27日	山内町
46	市	重要文化財	木造牛頭天王坐像	1躯	平成16年4月30日	武雄市立図書館・歴史資料館
			(附)木造神像等	8躯		
47	市	史跡	李祥古場窯跡	1基	平成16年4月30日	武内町真手野
48	市	天然記念物	馬場の山桜	1株	平成17年3月30日	武内町真手野
49	市	無形民俗	三間坂の荒踊	1団体	平成19年3月30日	山内町三間坂
50	市	歴史資料	皆春齋御絵具	1括	平成20年2月21日	武雄市立図書館・歴史資料館
51	市	歴史資料	肥前全図	1舗	平成21年3月30日	武雄市立図書館・歴史資料館
52	市	史跡	大副の磨崖十三仏種子	(1面)	平成22年3月29日	北方町大崎
53	市	建造物	焼山の墾田碑	1基	平成23年3月25日	東川登町永野
54	市	史跡	川古窯ノ谷下窯跡	1基	平成23年3月25日	若木町川古
55	市	考古資料	おつぼ山神籠石出土柱根	3本	平成24年3月26日	武雄市図書館・歴史資料館
56	市	歴史資料	肥前一国絵図・五嶋図 及び肥前一国道則帳 附. 絵図箱(肥前一国図在銘)	2舗1冊 (1合)	平成25年3月14日	武雄市立図書館・歴史資料館
57	市	重要文化財	大仏頂万行首楞嚴新咒図	1幅	令和2年4月27日	武雄町富岡
						令和2年7月末時点

6. 武雄の匠

武雄の市内には、自然・伝統・芸術・文化・産業など様々な分野で活躍する人たちが住んでいる。実際に、武雄の様々な分野の「ワザ」を体験することが出来る。個人・団体問わず体験コースの申し込みが出来る。

【主な体験内容】自然体験、染色体験、芸妓体験 など

【時 間】
【料 金】
【場 所】 } 各匠により異なる ※要予約

問合せ先 (一財) 武雄市観光協会 Tel : 0954-23-7766



体験一覧・予約はこちら！→
武雄市観光協会ホームページ



7. 民俗芸能

※新型コロナウイルスの影響により、行わないもの、規模を大幅に縮小して行うものがあります。事前にご確認ください。

(1) 真手野の舞浮立…武内町大字梅野 武内神社 (4月第1日曜日)

※6年に1度の奉納：次回 令和4年(2022年)

武雄領主第26代鍋島茂明が、宝暦年間(1751～1764)に江戸参勤のため三州岡崎を通った際、土地の踊りを観て大変気に入り、わざわざ家来を岡崎に差し向け伝授されたのが今日の武雄の浮立となっている。

従来の浮立に岡崎の浮流を加えたもので、全部で33曲が伝えられている。曲目の中には「討入り」あるいは「詰太鼓」と呼ばれる戦いの場面を思わせる勇壮な気迫に満ちたものや、岡崎・江戸と呼ばれる徳川家康ゆかりの地名のついた曲もある。

(2) 大日の皮浮立…橘町大字大日 大日如来堂 7月28日

皮の楽器を主体とした浮立のためこの名が付けられている。この祭りの起源は確かではないが、浮立の分布状況は大体杵島山を囲む山麓一帯(橘・橋下・須古・白石)に集中している。

杵島山は、歌垣山として古くから世に伝わり、1,300～1,400年前から歌垣の集いと称して現今も様々な催し物が行われている。また、この皮浮立が杵島山周辺に多く伝えられていることは歌垣当時から伝わった民俗芸能ではないかとも考えられる。

この皮浮立は、笛、大太鼓、モリヤーシ(締太鼓)・鼓・大胴という楽器を10人前後で演奏する。歌垣は、男女による歌のかけあいを中心とする集团的行事。

(3) 武雄の荒踊…朝日町中野(磐井八幡社)・西川登町高瀬(松尾神社)

・東川登町宇土手(正一位神社)

9月23日

武雄の荒踊は旧武雄領のみに伝わる芸能で、その由来は今から470年前の享禄3年(1530)、島原の領主有馬晴純が武雄の領主後藤純明を住吉城に攻めたとき、純明は闇夜に乗じて勇敢なる逆襲を以って有馬方の強兵を白水原にて討ち破り、宇土手が原において戦勝を祝して大いに踊ったのがこの荒踊の始まりの一つと言われている。戦前までは約20地区に伝承されていたが、現在は上記の3地区が武雄の荒踊として国の重要無形民俗文化財に指定されている。踊りの所作などは地区によって違いが見られ、山内・武内・武雄の各町内の数地区でも受け継がれている。踊り手約25人、謡い手1～5人、笛3～5人、大太鼓1人、モリヤーシ(締太鼓)3～5人、鉦は大小7個などで構成されている。

(4) 袴野面浮立…東川登町袴野 貴船神社 9月23日

今から約500年前、神埼郡目達原において豊後の大友宗麟と肥前の龍造寺隆信が大兵を挙げて戦った時、大友軍の勇敢な騎兵隊のために龍造寺軍は危うく一敗地に塗れんとした。当時龍造寺軍の客分であった鍋島の豪族、鍋島清久が自分の一族郎党に鬼の面と「しやぐま」の毛をかぶらせ、陣鐘・陣太鼓の音に合わせ、声を上げて敵軍大友の騎兵隊の中に突入したところ、騎兵隊の馬がこの異様な装束に驚き浮き足立った。龍造寺軍は機を逸せず反撃に転じた為、戦に勝利することができた。その勝利の祝宴のとき、鍋島方は一様に鬼の面をかぶり、鐘・太鼓・笛の音に合わせて踊りぬいたのが面浮立の起源と伝えられ、旧鍋島藩即ち佐賀県及び長崎県の一部に広く伝承されている。

しかし、本来は雨乞いや悪魔を払い去り、福を招き、五穀豊穡、家内安全を祈念する踊りと考えられている。

親面という赤と青の面を付けた2人の先導役が立ち、その後ろに踊り手は鬼の面を付け三列縦

隊で笛・太鼓・鐘の音に合わせてモリヤーシを打ちながら上下の躍動を中心に踊りを披露する。

(5) かんこ踊…山内町大字鳥海 船の原地区 鎮守八幡神社 秋分の日
(2年に1度、西暦偶数年に奉納)

壇ノ浦での源平合戦に敗れた平家一門が船の原に隠れ、平維盛の孫である六之助らが、都をしのび平家家風の手踊りを踊ったのが始まりといわれている。9月の氏神の秋祭りに船の原地区で踊られており、荒踊の元の一つになったと考えられる伝統芸能で、昭和41年に県重要無形民俗文化財に指定された。(奉納は2年に一度)

(6) 山内の浮立 秋分の日または、それに近い土日

9月の彼岸に五穀豊穡を願って行われる祭り。山内町の11地区で彼岸ごもりの奉納として踊られる。その演目はさまざまで、江戸浮立、蛇浮立、猪浮立、虎浮立、銭太鼓などがある。

(7) 志久七囃子浮立…北方町大字志久 稲主神社 10月18日

倉稲魂命と木ノ元父子を稲主大明神として祀る、稲古神社に奉納される浮立。稲古神社の創建時、寛文3年(1663)に北方郷の宗庁になった時、ほうのうされるようになった。「赤い飯の悲劇」と呼ばれる事件で亡くなった木ノ元父子霊を鎮めるために愛児七人になぞらえ七つ囃子を奉納。

(8) 武雄供日の流鏝馬行事…武雄町八並区、武雄区、下西山区、朝日町甘久区 武雄神社
10月22、23日

寿永3年(1183)源頼朝が平家討伐の必勝祈願のため武雄神社に使者を送ったところ、武雄神社から飛来した白鷺が源氏を守護し見事勝利することができたので、文治2年(1186)武雄神社に教書を送り戦勝を深謝した。さらに後鳥羽天皇も勅使を送り、お礼と戦勝報告を行わせた。神事後、武雄領主が流鏝馬を奉納したのが始まりといわれている。流鏝馬行事は10月22日に前夜祭の宵のまつり(エイトウ)と、10月23日に流鏝馬が行われる。

宵のまつりは朝日町甘久区担当で、夕刻に甘久区を武雄神社に向けて出発する。武雄神社で神事を行い荒踊りを奉納し、帰路長持ちを青竹で叩き「エイトウ、エイトウ」と囃したてながら市街地を練り歩き甘久区まで帰る。

流鏝馬行事は武雄町八並区、武雄区、下西山区担当で、八並区から流鏝馬行列が出発し、市街地を通り武雄神社へ向かう(上り馬)。武雄神社での神事後、神社前の馬場で流鏝馬奉射・競射を行い、また市街地を通り八並区へと帰る(下り馬)。流鏝馬行列は華麗な鎌倉絵巻のようで、馬上から弓を射る姿は勇壮で圧巻である。

(9) 黒髪神社の流鏝馬神事…山内町大字宮野 黒髪神社 10月29日

永万元年(1165)武雄領主為朝が黒髪山で大暴れしていた大蛇を退治した願成就として奉納したのが始まりといわれている。3つの的を馬上から射る仕方を7回繰り返して納める。

8. 武雄の特産品

(1) 武雄育ちレモングラス

2007 年より耕作放棄地や遊休農地を利用して栽培が始められる。人々や自然環境に配慮し、農薬や化学肥料を一切使用しない栽培方法により生産している。恵まれた自然と農家の愛情で大切に育てられた安全で美味しい武雄産レモングラス。

●レモングラスって何？

レモングラスは熱帯アジア原産のイネ科の多年草で、レモンのような香りが特徴。レモングラスに含まれるシトラールは心身の疲れを癒し、集中力を高める効果がある。ハーブティー、料理、入浴剤として利用される。市内旅館のウェルカムドリンク、また武雄産豚肉ブランド「若楠ポーク」や猪肉を使ったレモングラスしゃぶしゃぶとしてメニューに取り入れるなど、多岐にわたり利用されている。



(2) 「黒」商品

山内町のシンボルである黒髪山の「黒」にこだわった特産品。目を付けたのが、黒米の栽培と、黒米を活用した商品開発。黒米は古くから栽培されてきた米で、「古代米」ともいわれている。ビタミンなどのミネラルが豊富なほか、黒米に含まれる紫色の色素が胃腸を丈夫にするなどの効果がある。地元農家や業者の協力を得てつくられた「黒」商品は今では12種類にも及ぶ。また最近では、黒スイカ、黒大根、黒ピーマンなど黒野菜も栽培されている。

「黒」を使った商品

- ・黒米
- ・黒麺類（ラーメン、うどん、カレーうどん、ちゃんぽん、パスタ）
- ・黒米パン
- ・黒米水飴
- ・黒米味噌
- ・黒米ソフトクリームなど



(3) 若楠ポーク

「若楠ポーク」は、安全な飼料を与えて育てられた武雄のブランド豚。肉の特徴として、臭みがなく、きめ細かく、柔らかい。良質なタンパク質やビタミンB1が豊富に含まれており、健康にも良い。市内の旅館や飲食店では、若楠ポークをつかった料理が提供されている。



(4) 猪肉

農作物を荒らすイノシシを地域資源として有効活用。猪肉には、人の成長に欠かせない良質のたんぱく質をはじめ、新陳代謝を促すビタミンB群も多く含まれる。脂質や糖質の代謝を促してダイエットにも効果的。猪肉のブランド化を目指し、地元の旅館・ホテル、飲食店などで開発が進められている。現在、首都圏・関西圏への販路を拡大している。



(5) 佐賀大豆フクユタカ商品(SOYよかね! : 武雄市観光協会認定)

武雄でも作られている佐賀大豆「フクユタカ」を使用したオリジナルメニューを市内飲食店などで開発し、提供している。大豆には、主要な成分として、たんぱく質、炭水化物、脂質のほか、食物繊維、ミネラル、ビタミン類などさまざまな栄養をバランスよく豊富に含んでいる。



(6) 橘産さがびより

橘町で栽培されている武雄市が誇るブランド米「さがびより」は米作りマイスターの指導を受けて作られており、粘り気があり冷めてもおいしいことが特徴。2018年12月に行われた第15回お米日本一コンテストで金賞を受賞。米の食味ランキングでは平成22年から12年連続「特A」評価を獲得、JR九州の豪華寝台列車「ななつ星」で九州を代表する食材としても採用された。

(7) 北方産パクチー

北方町の江口農園で栽培されているパクチーは武雄市だけでなく全国的にも有名。2018年10月27、28日に行われたreadyGo! projectでは糸島にある1日1組限定のレストランpinoxと共同開発した「パクチープリン」や武雄産の食材である猪、レモングラスと共に新武雄名物料理として佐賀県内外の観光客に振る舞われた。

(8) 高オレイン酸大豆(佐大 H01 号)

佐賀大学で育成された大豆（遺伝子組み換えでない）。全国に先駆けて武内町の西梅野ファームで大規模な栽培が始まっている。地域ぐるみの挑戦が評価され第47回佐賀県農業賞優秀賞を受賞。大豆の特徴としてオレイン酸含有量がフクユタカの約4倍で、加工時に酸化しにくい性質から機能性をいかした食品開発分野で期待が高まっている。

9. 武雄市内の開催イベント

(令和2年度)

開催期日	イベント名	内 容	場 所	問い合わせ先
3月15日 ～5月6日	御船山楽園 花まつり	御船山を背景に約5万本のツツジと2千本の桜が咲き乱れる。	御船山楽園	御船山楽園 0954-23-3131
5月26日	うめ～ランド	御船が丘梅林の梅ちぎりやうめダーツ大会などイベント盛り沢山。	御船が丘梅林	清香奨学会 0954-22-2256
8月22日 ～11月8日 (御船山楽園は 7/22～11/8)	武雄のあかりめぐり チームラボ かみさまがすまう森 (御船山楽園)	市内各所の観光スポットでライトアップや灯りの演出。御船山楽園では5000個の竹灯籠とチームラボによる池全面を使ったデジタルアート。自然と光が融合した幻想世界。	市内各所 御船山楽園	武雄市観光協会 0954-23-7766 御船山楽園 0954-23-3131
7月28日	大日皮浮立	笛のほか、皮で作った太鼓などで演奏される。市重要無形文化財。	橘町大日 大日如来堂	武雄市商工観光課 0954-23-9237
8月4日	やまうち 七夕まつり	地元で作られたたくさんの七夕飾りの笹が並べられる。	山内中央公園	山内公民館 0954-45-2139
8月16日	北方町盆踊り大会	町民総出で賑やかに踊る。お楽しみバザーなどあり。	北方グラウンド	北方公民館 0954-36-2515
9月23日	武雄の荒踊	武士が戦勝を祝して踊ったのが始まり。腰に大小の刀を差して勇壮に踊る。国重要無形民俗文化財。	中野：磐井八幡社 高瀬：松尾神社 宇土手：正一位神社	武雄市商工観光課 0954-23-9237
2年に1度開催 西暦偶数年 (9月23日)	かんこ踊	平家の公達が京で習い覚えた踊りで無聊を慰め、酔えば「かんこかんこ」と踊ったことが始まり。県重要無形民俗文化財。	山内町 鎮守八幡神社	武雄市商工観光課 0954-23-9237
10月19日	志久七囃子浮立	嘉禎元年に始まった舞浮立。市の重要無形民俗文化財。	北方町 稲主神社	北方公民館 0954-36-2515
10月21日	弓野くんち市 フェスティバル	今年で20年目を迎える。だご汁のふるまいや「くじら売り」は必見。	弓野くんち市会場 (弓野公民館周辺通)	西川登公民館 0954-28-2004
10月22日 ～23日	武雄温泉秋まつり (縮小して開催)	お供日行事。 前夜祭は宵のまつり(エイトウ)。本祭は1186年から続く流鏝馬。	武雄町中町 武雄神社周辺	武雄市商工観光課 0954-23-9237
10月29日	黒髪神社の流鏝馬	黒髪山の大蛇退治に由来する流鏝馬。観客席の真近を走り抜ける奉納は圧巻の迫力。	黒髪神社	黒髪神社 0954-45-2104
11月上旬 ～12月上旬	御船山楽園 紅葉まつり	約500本の紅葉があり見事な深紅色を彩る。夜間ライトアップもあり。	御船山楽園	御船山楽園 0954-23-3131
11月20日 ～21日	武雄の物産まつり	地元の農産物・名産品・商工製品等の紹介や、各種イベント開催。	武雄市文化会館	武雄市商工観光課 0954-23-9237
10月下旬 ～11月末	黒髪山陶芸作家 秋の窯開き	秋の紅葉を眺めながら窯元散策。各窯元さんの作品をお手頃価格で販売。	黒髪山麓一帯	武雄市商工会 山内事務所 0954-45-2505
11月22日 ～24日	民陶火まつり	陶芸の里、黒牟田で行われる窯元主催のミニ陶器市。	武内町黒牟田	丸田宣政窯 0954-27-2430

開催期日	イベント名	内 容	場 所	問合せ先
12 月下旬	九州オルレ武雄コース オルレイベント	「九州オルレ武雄コース」を歩く ウォーキングイベントです。	スタート(白岩体育館)～ ゴール(武雄温泉楼門)	武雄市商工観光課 0954-23-9237
2 月下旬	九州オルレ武雄コース オルレイベント	「九州オルレ武雄コース」を歩く ウォーキングイベントです。	スタート(白岩体育館)～ ゴール(武雄温泉楼門)	武雄市商工観光課 0954-23-9237
2 月 23 日	お不動さんまつり (火渡り行)	法要の後、残り火の上を歩き一年 間の無病息災を願う祭り。	大聖寺	大聖寺 0954-36-4934

※令和 3 年度未開催のイベント多数のため令和 2 年度の予定を参考掲載
令和 3 年 12 月現在

10. 周辺観光地とのアクセス

(1) 吉野ヶ里歴史公園…佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大字田手 1843 (TEL 0952-55-9333)

国の特別史跡に指定された弥生時代の国内最大級の環濠集落跡である吉野ヶ里遺跡を体験できる場所。広大な園内には、出土品を集めた展示室があり、竪穴式住居、物見櫓などが復元され、火おこし・勾玉づくりなどの体験プログラムが実施されている。車で 80 分。

(2) 祐徳稲荷神社…佐賀県鹿島市大字古枝乙 1855 (TEL 0954-62-2151)

日本三大稲荷の一つに数えられる神社。五穀豊穡・商売繁盛・家運繁栄・交通安全などの守護神として信仰が厚い。車で 30 分。

(3) 九州陶磁文化館…佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1 (TEL 0955-43-3681)

九州各地の古陶磁と現代坂の作品を体系的に展示。中でも輸出伊万里 101 点を一堂に展示した蒲原コレクションはあかん。他に等辺類や製作技術も紹介。展示点数 1,300 (常設) 点。車で 30 分。

(4) ハウステンボス…長崎県佐世保市ハウステンボス町 1-1 (TEL 0956-58-0080)

花、光、ゲーム、音楽が 1 年中あふれるヨーロッパの街並みを再現した、長崎が誇る巨大テーマパーク。広大な敷地で、異国のリゾート気分を楽しむことが出来る。車で 40 分、JR で 40 分。

(5) 佐賀城本丸歴史館…佐賀市城内 2-18-1 (TEL 0952-41-7550)

幕末維新期、日本の近代化を先導した佐賀藩。佐賀城本丸歴史館は全国最大規模の木造建造物で、その時代の佐賀をわかりやすく紹介する歴史博物館。天保期の佐賀城本丸御殿の遺構を保護しながら日本で初めて本丸御殿を復元しており、約 2,500 平方メートルの規模を誇る。車で 50 分。

(6) 唐津城・虹ノ松原…唐津市 (唐津市観光協会：TEL 0955-74-3355)

慶長 13 年 (1608 年) に唐津初代藩主寺沢志摩守広高が築城。現在の唐津天守閣は、昭和 41 年の建設。別名舞鶴城。車で 50 分。
また、虹ノ松原は青々とした玄界灘に沿って 5 km もの松の群生が続く松原。日本の渚 100 選にも選ばれている。車で 50 分。

(7) 長崎市…車で高速利用 1 時間、JR で 1 時間 30 分。

(8) 九州佐賀国際空港…車で 50 分。

(9) 長崎空港…車で高速利用 40 分。

(10) 福岡空港…車で高速利用 1 時間 10 分、JR+地下鉄で 1 時間 30 分。

1 1. 各施設問合せ先（市内・市外）

◇市内の各施設（０９５４）～	
武雄市役所代表	２３－９１１１
武雄市役所商工観光課	２３－９２３７
武雄市観光協会	２３－７７６６
武雄温泉駅観光案内所	２２－２５４２
たけなび	２２－０１０１
武雄市図書館・歴史資料館	(図書館) ２０－０２２２ (歴史資料館) ２８－９１０５
佐賀県立宇宙科学館	２０－１６６６
武雄商工会議所	２３－３１６１
武雄市商工会	(北方) ３６－２１１１ ／ (山内) ４５－２５０５
保養村観光ボート乗り場	２３－２８５４
武雄温泉物産館	２２－４５９７
武雄温泉(楼門・元湯・鷺の湯等)	２３－２００１
道の駅山内「黒髪の里」	４５－６００９
きたがた四季の丘公園	(管理棟) ０９０－１３６０－６４４７
温泉タクシー	２３－６１６１
武雄タクシー	２３－１１１１
◇キャンプ場	
眉山キャンプ場	(若木公民館) ０９５４－２６－２００４
乳待坊公園いこいの広場キャンプ場	(予約受付) ０８０－２１５７－０３５７
◇団体・法人ほか	
佐賀県観光課	０９５２－２５－７０９８
佐賀県観光連盟	０９５２－２６－６７５４
嬉野温泉観光協会	０９５４－４３－０１３７
鹿島市観光協会	０９５４－６２－３９４２
太良町観光協会	０９５４－６７－００６５
有田観光協会	０９５５－４３－２１２１
唐津市観光協会	０９５５－７４－３３５５
伊万里市観光協会	０９５５－２３－３４７９



“いで湯と陶芸のふるさと武雄温泉”

佐賀県武雄市武雄町大字昭和 1 2 番地 1 0
武雄市営業部商工観光課
TEL 0954-23-9237
FAX 0954-23-3816
MAIL syoukougankou@city.takeo.lg.jp

R3.12 月